



謹賀新年 今年もよろしくお願ひします

『2020 新語・流行語大賞』（現代用語の基礎知識選）の年間大賞に「3密」が選ばれるほど、新型コロナウイルス一色だった2020年が終わり、新年を迎えました。旧年中は、授業スタイルや学校行事等も見直しを余儀なくされるとともに、新しい生活様式に沿った教育活動により、神経をすり減らす毎日となりました。県内でも感染が拡大している状況の中、常に気の抜けない日々を過ごしています。

収束の見通しがつかない中ですが、コロナ禍は改めて教育活動を見直す機会ともなりました。見直しの視点の一つは教育活動の「精選」です。前年度踏襲としていたものが、①やらなくてはならないこと、②やらなくてもよいがやった方がよいこと、③やらなくてもよいことという視点で見直されました。二つ目は教育活動の「目的の再確認」です。本来、修学旅行とは何のためにやるのか、主体的・対話的で深い学びとはどういうことなのか等を問い直す機会となりました。1月に入り、教育課程の見直し、編成の時期となります。コロナ禍から得た貴重なアイデアを活かして、次年度の教育課程編成をお願いいたします。

【1月の予定】

※時間のみ記載の研修会の場所は、下野市庁舎です。

※市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
					1 元日	2
3	4	5	6	7 冬休み終了 定例校長会議⑧ 9:00~	8 授業開始	9 県立中学校入学者選考
10 下野市成人式	11 成人の日	12	13 小中一貫の日 (国分寺中学校区)	14 定例教育委員会 総合教育会議	15	16 下地区理科研究展覧会 国分寺公民館(~17日)
17	18 特別支援教育計画策 定委員会 14:00 栄養教諭・学校栄養教 員研修 14:00	19 キャリア教育研修会 14:00	20	21 情報教育研究会 14:00 石橋北小	22	23 教育のつどい(表彰関係) 9:00 国分寺公民館
24	25 31	26 新聞の日	27 S&U(祇園小) 小中一貫の日 (石橋中学校区) (南河内中学校区)	28	29 県教育研究発表大会 1日目 総教センター	30 県教育研究発表大会 2日目 総教センター

情報教育研究会(情報モラル授業研究会)

11月25日(水)、緑小学校にて情報モラル授業研究会を開催いたしました。授業は、緑小学校4年生の道徳「それでも言える?」です。4年生の主人公が、インターネットで情報を検索している際、知りたい内容を得るために名前の入力を求められ、「名前だけなら…」と入力してしまうという教材です。子ども達は、正しいと判断することとそれを実行に移すことの違いや難しさについて考えました。授業後の協議では、道徳のねらいを達成する中で情報モラルを育成することの難しさや、系統的に情報モラル教育を行っていく必要性について話し合いました。

参加者の声

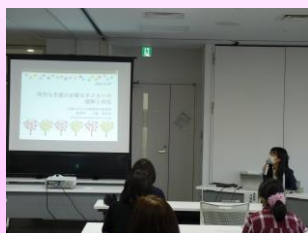
- ・情報モラルの大切さを改めて感じた。子どもの理解度や情報機器の利用状況から、適切に、継続して指導していきたい。
- ・道徳のねらいを達成しつつ情報モラルに関する指導もできるような授業を心掛けたい。



学校生活支援員(介助)研修会

12月7日(月)、宇都宮大学共同教育学部司城紀代美准教授をお招きして、学校生活支援員(介助)研修会を開催いたしました。参加者36名が「特別な支援が必要な子どもへの理解と対応」と題した講話を聞き、学びを深めました。

具体的な例を交えながらの講話を、自分の担当している子どもに重ね合わせて聞いている参加者が多く見られました。特に、特別な支援が必要な子どもの「特性」と「知能検査結果の解釈の仕方」とを結び付けてお話しいただいたことで、表面にあらわれる子どもの行動と、その裏側にある子どもの困り感との関係を知り、さらには具体的な支援の方法を学ぶことができました。



参加者の声

- ・否定的でない言葉のバリエーションを増やそうと思う。
- ・「教室で動き回っていたのは、そこにとどまるための試み」など、子どもの行動の意味を捉え直してみようと思う。
- ・一人一人の言動の裏側にある気持ちを理解し、一緒に解決していきたい。
- ・支援員も直接子どもに関わる身として、WISCの結果にも注目していきたいと思った。

第2回学習指導法研修会



12月8日(火)、学習指導法研修会を開催いたしました。今回は、市内小・中学校の総合的な学習の時間担当の先生方を中心に、総合的な学習の時間を一層充実させるための手立てについて研修しました。各学校の全体計画や年間指導計画を持ち寄り、特に確認したのは次の点です。

- 目標や探究課題の記載は適切か
- 評価は3観点に基づいているか
- 探究の過程(スパイラル)が意識されているか



参加者の声

- ・同じ学区の先生方と協議する時間があつたことで、コロナ禍でも工夫して学習を進めていることが分かってよかった。
- ・目標や探究課題の設定について、具体的な例を見ながら自校のものを振り返るよい機会となった。
- ・子ども達の総合的な学習の時間が好きという割合が高く、将来役立つと感じている子どもも多いことを考えると、確実に行っていかなければいけないと思った。

総合的な学習の時間については、平成30年度から先行して新学習指導要領で実施されており、多くの先生方が指導に関わっている領域です。また、各学校で内容や探究課題を設定する必要があり、学校全体で計画的に指導していく必要があります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた体験は実施できなかったが、身に付けた資質・能力を育成するための代替の体験を検討したという学校もありました。

引き続き、総合的な学習の時間の一層の充実に向けて、研修に参加された先生方を中心に学校全体で目標、探究課題、評価計画等の見直しを図ってください。

いずれも、学校全体で進めたい内容です。参加していただいた代表の先生を中心として、全教職員で共通理解した上で、協議、検討し、計画、実践くださるようお願いいたします。